

2020年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス競技、団体戦部門
要項 2.2



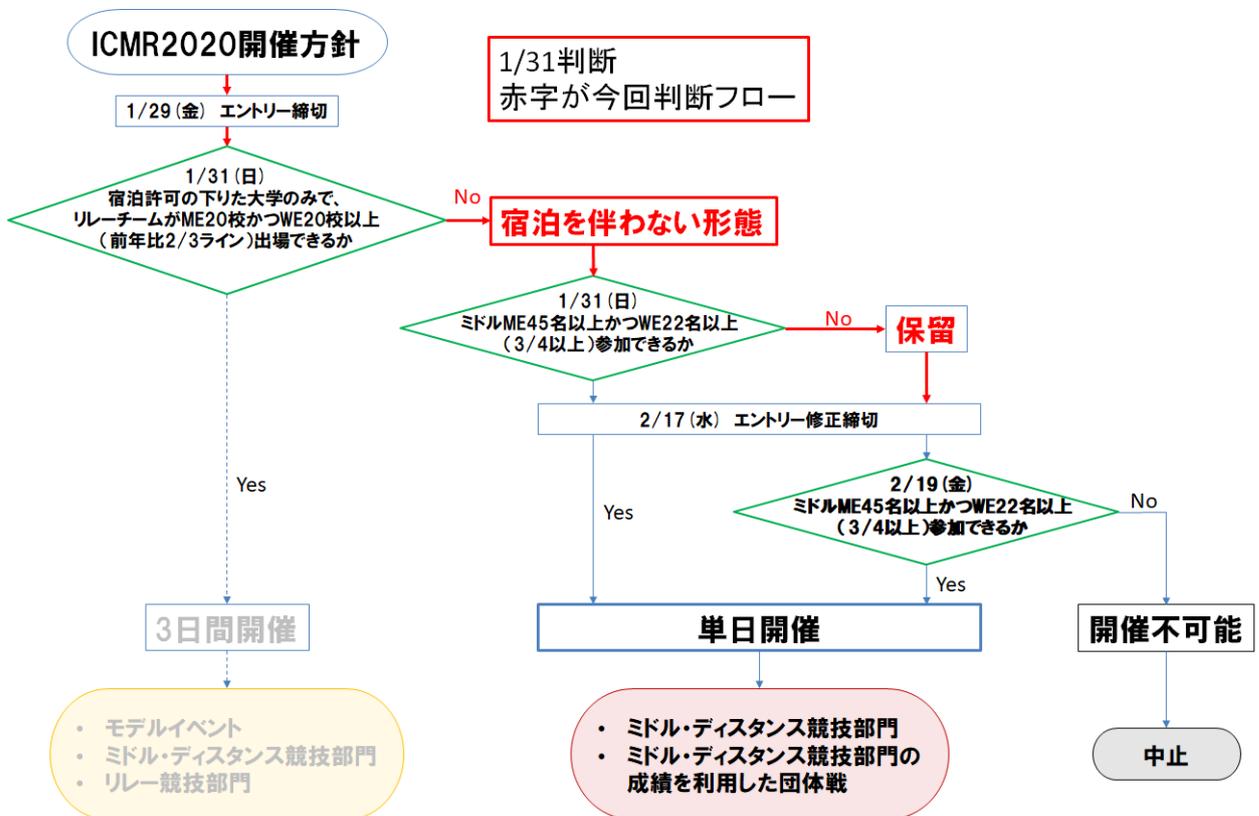
発行日：2021年1月31日（日）
 発行者：2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会
 発行責任者：糸賀 翔大（実行委員長）
 編集責任者：田中 創（広報責任者）

はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行を鑑み、本大会は例年通りの3日間大会の開催を断念致しました。2月19日（金）に再度単日開催か大会中止かを判断します。

リレー競技部門を実施せず、各校で選抜した3名のミドル・ディスタンス競技部門のタイムの合計を基に団体戦選手権校を決定します。選抜された3名のうちミドル選手権の部の出場権を持たない選手は、ミドル選手権の部と同一コース（MEC/WECクラス）に出走していただきます。

また、インカレが中止となった場合に予定しておりました代替大会については実施せず、併設大会のみ実施することとなりました。



本要項では、改訂前の3日間大会に関する情報を削り、単日開催大会に絞った内容を記載しております。

略称・呼称

本要項では、以下の略称・呼称を使用することがあります。

略称・呼称	正式名称・意味
インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技者	「日本学生オリエンテーリング連盟規約」(令和2年5月9日全文改正)第5章によって定められた競技者登録がなされている者
選手権の部	インカレ実施規則第2.1項に定められた ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門
一般の部	選手権の部に出場しない日本学連競技者のための競技部門
ミドル	ミドル・ディスタンス競技部門
リレー	リレー競技部門

開催日

【単日開催】
2021年

【中止】

代替大会含め実施なし

3月13日 (土)

- ・ 3月6日(土) : 開会式(Web)
- ・ 3月13日(土) :
ミドル・ディスタンス競技部門
団体戦部門、閉会式

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容の一部変更、延期、中止の判断を行う可能性があります。変更があった場合、要項の改訂など、随時告知いたします。

開催地

三重県伊賀市 青山高原一帯

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2020 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

	ミドル・ディスタンス競技部門 (団体戦部門)
実行委員長	糸賀 翔大 (東京 11)
競技責任者	森河 俊成 (京都 16)
運営責任者	実藤 俊太 (京都 13)
コース設定者	築地 孝和 (神戸 13)
イベント・アドバイザー	木俣 順 (名古屋 91)

主管者の連絡先 (お問い合わせはこちらにお願いします)

実行委員会問い合わせ用アドレス (ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通)

 e-mail: 2020icmr_info@googlegroups.com

後援

(公社) 日本オリエンテーリング協会
三重県オリエンテーリング協会
伊賀市
伊賀市教育委員会

大会公式 web サイト

 URL: <http://www.orienteering.com/~icmr2020/>

1 競技情報

競技形式／地図仕様

	競技形式	地図仕様			
		縮尺	等高線 間隔	走行 可能度	地図図式
3月13日(土)	ミドル・ディスタンス競技	1:10,000	5 m	5段階表示	ISOM2017-2 準拠

パンチングシステム

全てのクラスにおいて、Emit 社の電子パンチング計時システム（E カード）を使用します。

トレイン概要

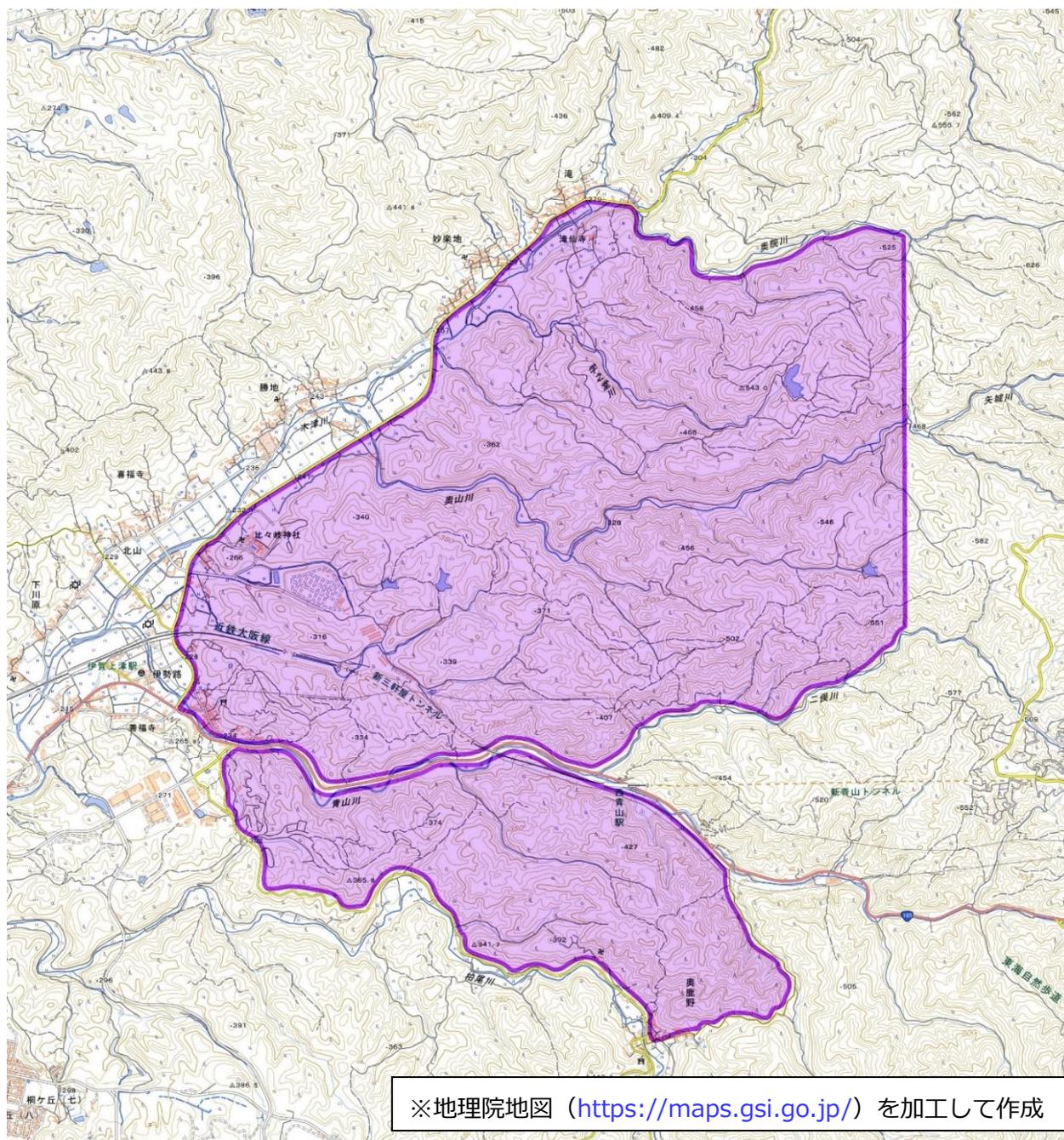
青山高原の西側の標高約 200～450m に位置するトレインとなっています。急峻な斜面、入り組んだ地形が多くみられますが、尾根線・沢線上には比較的緩やかなエリアもみられます。低木によって見通しのきかないエリアがありますが、走行可能度は低くありません。一方で見通しのよいエリアでは一部に倒木による走行可能度の低下が見られます。車道や造成道によってエリアはいくつかに分断されており、小道・小径も発達しています。炭焼き窯に由来する点状特徴物が点在していることも特徴的です。

立入禁止区域・クローズテレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル^{※1}、併設大会参加者^{※2}含む）および観戦を予定している者は、本大会終了までの期間、下図に示す区域へのオリエンテーリング目的（テレイン視察含む）での立入を禁止します（当該区域使用下での競技参加時を除く）。なお、近鉄大阪線および立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

※1 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについての詳細は、p.9 チームオフィシャルの項をご覧ください。

※2 本大会には日本学連に登録されている競技者のみ出場可能ですが、一般の方を対象とした併設大会を開催する予定です。詳細は併設大会要項 ver2をご覧ください。



立入禁止区域の設定に伴い、以下のテレインをクローズします。

クローズテレイン

「青山高原」 2011年 京都大学・京都女子大学オリエンテーリングクラブ作成

「奥鹿野」 2004年 2003年度日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会作成

トレーニングテレイン

本大会ではトレーニングテレインを設けません。

モデルイベント

モデルイベントは行いません。

ドーピング検査

- ・ 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
- ・ ドーピング検査の対象となった本大会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本大会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参してください。
- ・ 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることとなります。
- ・ 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となります。
- ・ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の Web サイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認してください。
- ・ ミドル選手権の部出場者はアンチ・ドーピングの e ラーニングの受講が必須となります。詳細は日本学連からの案内に従ってください。



2

クラスと参加資格

団体戦について

今回のインカレでは、各校3人のミドル選手権の部のコースでの合計タイムで、団体戦を実施いたします。例年のリレー選手権の部と同様、上位6校を表彰いたします。

◆ レギュレーション

- ・ 各校3名がミドル選手権の部もしくはミドル選手権の部と同一のコース（MEC/WEC）を走り、その合計タイムで競う。
- ・ 各校の代表選手はミドル選手権の部出場者以外からも選出可能とする。
- ・ ミドル選手権の部の出場権がない選手を選出した場合、当該選手は MEC/WEC クラスにて出走する。
- ・ 3月1日（月）までに各校代表3名をエントリーサイトにてエントリーする。3月2日（火）以降に選手変更することは原則として認めない。
- ・ 選手に不慮の事故等があり、当日参加できない場合に限り、当日の8時までに申し出ることによって、オーダーを変更することが出来る。交代選手はミドル選手権の部、一般の部どちらの出走者でも可能とする。
- ・ MEC/WEC クラスはミドル選手権の部よりも先に出走し、十分な時間を空けてからミドル選手権の部が出走する。
- ・ 3人の選手を選出できない参加校は、複数校にまたがって特例チームを構成し、参加することも可能とする。

◆ エントリーについて

- ・ MEC/WEC 出走予定者は1月29日（月）締切のエントリー時および、2月1日（月）～2月17日（水）のエントリー修正期間では MEC/WEC 以外の一般の部を選択してエントリーしてください。
- ・ 各校代表3名のオーダー提出後、MEC/WEC クラスへ割り振り、スタートリストを作成します。

3月13日（土）ミドル・ディスタンス競技部門

◆ クラス情報

クラス		対象	参加資格	優勝設定時間
選手権の部	ME	男子選手権	日本学連登録されている男子	35-40分
	WE	女子選手権	日本学連登録されている女子	
一般の部	MEC	男子団体戦代表	男子団体戦部門に参加する男子	
	WEC	女子団体戦代表	女子団体戦部門に参加する女子	
	MA	男子上級者	日本学連登録2年目以上の男子	25-30分
	MB	男子中級者	日本学連登録2年目以上の男子	
	MF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	20-25分
	WA	女子上級者	日本学連登録2年目以上の女子	25-30分
	WB	女子中級者	日本学連登録2年目以上の女子	
	WF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	

- ・ 各選手権の優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者とします。

- ・選手権の部の優勝設定時間はインカレ実施規則第 17.1 項に定められた時間です。
- ・申し込み多数のクラスについては、複数のクラスに分割します。
- ・クラスの選定については、日本学連発行の「[インカレ一般クラス棲み分けに関するガイドライン](#)」をご参照ください。
- ・MEC/WECクラスには、団体戦オーダー申込期間（2021年2月22日（月）～3月1日（月））に団体戦選手登録された選手のうち、ミドル選手権の部の出場権を持たない選手が自動的にエントリーされます。
- ・一般の部のトップスタートは10:30～、選手権の部のスタート待機所入場締め切りは12:30を予定しています。これらの時間はエントリー人数により変更になる可能性があります。

◆ 「選手権の部」参加資格

以下の2点を共に満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- ・日本学連に競技者登録されていること。
- ・地区学連枠、もしくは前年度個人実績枠による出場資格を持っていること。

＜地区学連枠＞

各地区学連の競技者数配分人数を以下に示します。記載内容は、日本学連技術委員会が発表した「[2020年度インカレミドル競技者数発表](#)」に基づきます。なお、競技者の選出方法は、各地区学連で定められています。

クラス	地区学連						合計
	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	
男子選手権	10	31	2	5	10	2	60
女子選手権	9	13	1	3	5	0	31

＜前年度個人実績枠＞

前年度入賞者は、上記の地区学連枠とは別に、選手権の部の出場資格を得ます。なお、本年度は該当者がいません。

3月13日（土）団体戦部門

◆ クラス情報

クラス	対象	チーム編成	優勝設定時間		
			各競技者	合計	
選手権の部	MET	ミドル ME 及び MEC 出場者	男子 3 人	35-40 分	105-120 分
	WET	ミドル WE 及び WEC 出場者	女子 3 人	35-40 分	105-120 分

- ・団体戦はミドル選手権の部あるいはMEC/WECクラスに出走する3名の合計タイムを用いて争います。
- ・各選手権の優勝校を団体戦選手権校とします。
- ・団体戦では一般の部は設けません。ご了承ください。

◆ 参加資格

- ・各校は男女それぞれ1チームのみ出場させることができます。
- ・日本学連に競技者登録されている3名から構成されるチームであることが必要です。

<特例措置について>

団体戦部門にチームを構成できない参加校は、複数校にまたがって特例チームを構成し、参加することが可能です。特例措置を希望する参加校は、「特例措置の申請」に従って申請してください。

- ・ 詳細は日本学連発行の「[インカレリレー特例措置に関するガイドライン](#)」を参照してください。「リレー」は「団体戦」に読み換えてください。
- ・ 特例措置にて構成されたチームは参考記録とし、表彰対象外とします。

◆ 選手権の部参加資格

- ・ 各校は男女それぞれ1チームのみ出場させることができます。
- ・ 日本学連に競技者登録されている3名から構成されるチームであることが必要です。

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。ミドル、団体戦いずれかの選手権の部に参加者がいれば登録可能です。チームオフィシャルは、選手権の部スタート地区において、選手のサポート、および各競技前日開催の代表者ミーティングへの参加が可能です。

各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- ・ 男子選手権の部（団体戦含む）への選手登録に対して最大2名まで
- ・ 女子選手権の部（団体戦含む）への選手登録に対して最大2名まで
（各校最大で合計4名まで登録可能）

※団体戦部門に、複数校による特例チームで出場する場合は、特例チームを構成する学校の数だけチームオフィシャルを登録することが可能です。



3

参加申し込み

エントリーの概要

リレー競技部門、代替大会不開催の決定を受け、エントリーのパターンを変更いたします。【変更後】のパターンでの申し込みをお願いいたします。エントリー締め切りは2月17日（水）まで延長いたします。

【変更前】

パターン①【3日間開催】	モデルイベント&ミドル・ディスタンス&リレー
パターン②【単日開催】	ミドル・ディスタンス&団体戦（+リレー代替大会）
パターン③【中止】	（+ミドル・ディスタンス代替大会）（+リレー代替大会）

【変更後】

パターン②【単日開催】	ミドル・ディスタンス&団体戦
-------------	----------------

エントリー期間

2021年1月1日（金）
～2021年2月17日（水）

特例措置申請期間

2021年1月1日（金）
～2021年2月17日（水）

入金期間

2021年3月22日（月）
～2021年4月5日（月）

団体戦オーダー申込期間

2021年2月22日（月）
～2021年3月1日（月）

エントリー方法

本大会の参加申し込みは、原則としてインターネット上のエントリーサイトで行います。エントリーサイトは[大会公式 Web サイト](#)よりアクセスすることができます。

エントリー・申込フロー一覧		
日程/パターン一覧	パターン②【単日開催】+リレー代替大会	
1月1日 金曜日	インカレミドル リレー代替大会 申し込み開始	
	↓	
1月29日 金曜日	申込締め切り	
1月31日 日曜日	インカレ開催判断	
	↓	
2月1日 月曜日	エントリー修正開始	
	↓	
2月17日 水曜日	エントリー修正締め切り	
2月19日 金曜日	インカレ開催判断	
	↓	
	エントリー確定	
	↓	
3月1日 月曜日	団体戦オーダー締め切り	
	↓	
3月13日 土曜日	インカレ当日	
3月22日 月曜日	入金開始	
	↓	
4月5日 月曜日	入金締め切り	
	↓	
	使用サイト	サイトオープン日
単日開催団体戦登録	学連エントリーリスト	要項2.1公開と同時

◆ アカウント入手

エントリーサイトにログインするためにはアカウント(ID とパスワード)が必要です。

エントリーサイトに使用するアカウントは、原則、日本学連に加盟登録をした際のものを使用してください。

【上記のアカウントでログインできない場合】

参加校および地区学連の担当者は、エントリー担当連絡先へ「【学校名(学連名)] アカウント希望」という題名でメールを送信してください。1週間以内にアカウントを発行します。

◆ エントリーサイトへの登録

参加校担当者は、ミドル・ディスタンス競技部門に出場する各選手の参加クラスとチームオフィシャルを登録してください。なお、ミドル競技エントリー時は、「選手権の部」出場有無に関わらず「一般の部」に出場する場合の希望クラスを入力してください。詳しくはエントリーサイトに掲載している申し込みの手引きをご覧ください。

また、団体戦登録はエントリーサイトにて行っていただきます。

◆ ミドル・ディスタンス競技部門選手権登録

各地区学連の担当者は選考した代表選手を「選手権の部」に登録する必要があります。そのためには競技者のエントリーサイトへの登録が必須となりますので、参加校担当者は速やかにエントリーサイトへの登録を行ってください。詳しくはエントリーサイトに掲載している申し込みの手引きをご覧ください。

◆ 参加費入金・入金先

参加費項目を参照し、地区学連担当者はミドル・ディスタンス競技「選手権の部」登録費（赤字部分）を、参加校担当者はそれ以外の合計金額を下記口座まで入金してください。

・地区学連担当者：赤字の合計金額 ・各校担当者：左記以外の合計金額

新生銀行(0397) 本店(400) 普通預金 口座番号 2354938
名義 ハチスカ ヒサハル

参加費

	項目	単位	金額
必須	基本参加費	競技者（登録2年目以上）	1人 5,000円
		競技者（登録初年度）	1人 2,000円
		チームオフィシャル	1人 4,000円
追加	ミドル・ディスタンス競技「選手権の部」登録費	1人	+1,500円
	団体戦部門登録費	1チーム	+4,500円
任意	Eカードレンタル	1人	+500円

- ・ 本大会の報告書は大会公式 Web サイトでの公開のみとし、販売は行いません。
- ・ レンタルEカードを紛失、破損された場合は1枚につき9,000円の追加料金をいただきます。
- ・ キャンセル料の徴収はしません。

特例措置の申請

特例措置を希望する学校は、下記に従って申請してください。

◆ 申請方法

- ・ 団体戦に複数校にまたがったチームで登録する場合もエントリー担当連絡先へ申請してください。メール件名は「【学校名】団体戦特例措置の申請」と記載してください。
- ・ 申請期限は2021年2月17日（水）とします。

エントリー内容変更

エントリー締切後のエントリー内容変更については下記の通りとします。

- ・ エントリー追加及び代走は認めません。
- ・ 欠席することが事前に分かった場合、その旨をエントリー担当までお知らせください。
- ・ その他のエントリー内容の変更については、エントリー担当に個別にお問い合わせください。

エントリー担当の連絡先

藤本 拓也（エントリー担当）  icmr2020.entry@gmail.com



4

宿泊・輸送

宿泊について

実行委員会での宿泊斡旋は行いません。

輸送について

本大会では駐車場一会場含め参加者輸送を行いません。

アクセス

◆ 公共交通機関

近鉄伊賀上津駅より会場まで徒歩 20 分

◆ 自家用車

名阪国道 上野東インターチェンジより約 30 分

伊勢自動車道 久居インターチェンジより約 40 分

新名神高速道路 甲南インターチェンジより約 60 分

大会参加者用の駐車場を用意する予定です。駐車場から会場までは徒歩約 30 分です。また車で来られる方には駐車券の発行を予定しています。詳細については後日発行予定の要項 3 をご確認ください。



5

併設大会・観戦

併設大会

日本学連競技者以外の一般の方を対象とした併設大会を、本大会と同時に開催します。併設大会詳細については、併設大会 Web サイトにてご確認ください。

併設トレイルO

オンラインでの開催を予定しております。詳細については後日発行される要項をご確認ください。

観戦

新型コロナウイルス感染症の情勢や各校の対応を加味した上で今後案内します。



6

新型コロナウイルス感染症対応

実行委員会では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する対応を下記の通り行います。

コロナウイルス対応ガイドラインの制定

本大会において新型コロナウイルス感染症の伝染・クラスター発生を防ぐため、実行委員会で対応ガイドラインを制定します。本ガイドラインを遵守することをエントリーの条件としますので、内容に関しては別ファイルをご確認ください。

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストール義務化

本大会参加者は、厚生労働省からリリースされている新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールおよび運用をエントリー時から義務づけます。

実行委員会による参加不許可基準

エントリー後でも、大会当日に以下の基準に該当する場合、実行委員会が参加をお断りすることがあります。予めご了承ください。

<①体温・体調>

前日及び当日の体温が 37.5 度以上である場合。また、「咳が続く」「味覚・嗅覚異常」「頭痛」「倦怠感」等、新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状が見られる場合。

<②濃厚接触者の有無>

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)により、大会前の直近 14 日以内に陽性者との接触が判明した場合。また、上記期間の間、同居する家族等の間で感染者が発生した場合。

<③海外からの渡航歴>

大会前の直近 14 日以内に海外からの渡航履歴がある場合。ただし帰国後に PCR 検査を実施し、陰性であった場合は、この限りではありません。

(要項 2.2 おわり)

プログラムの広告募集

要項 3 に掲載する広告を募集します。募集内容については以下をご確認ください。母校の学生に向けた応援メッセージ、地域クラブの広告、クラブで主催する大会の広告などなど、多数のお申し込みをお待ちしております。

	1コマ (1/8 ページ)	2コマ (1/4 ページ)	4コマ (1/2 ページ)	8コマ (1 ページ)	16コマ (2 ページ)
縦×横 (mm)	67×85	67×170 or 134×85	134×170	267×170	267×170 ×2 ページ
営利団体	14,000 円	22,000 円	38,000 円	66,000 円	110,000 円
非営利団体	7,000 円	11,000 円	19,000 円	33,000 円	55,000 円

- ・1 ページのサイズは A4 です。
- ・要項 3 は Web 版のみでの発行を予定しており、全広告をカラーで掲載予定です。なお、表紙裏、裏表紙、裏表紙裏への掲載を希望される方は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・下記振り込み先にお振り込みのうえ、以下の情報を明記し、原稿を e-mail 添付 (JPEG 形式、BMP 形式等の画像ファイル) にてご送付ください。

◆申し込み時必要事項

- ①振り込み日 ②振り込み人氏名 ③振り込み金額
④広告サイズ (コマ数) ⑤連絡先 e-mail アドレス (または電話番号)

◆締め切り

原稿 : 2021 年 2 月 5 日 (金) 必着

振り込み: 2021 年 2 月 25 日 (木) ←延長しました

◆振り込み先

新生銀行(0397) 本店(400) 普通預金 口座番号 2354938
名義 ハチスカ ヒサハル

◆原稿送付先・広告関連問い合わせ先

田中 創 (広報責任者)  icmr2020.ad@gmail.com

原稿送付後、1 週間以内に返信します。万一返信が無い場合は、恐れ入りますが再度ご連絡をお願いします。

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構